

## //REPORT//

# ユネスコスクールオンライン意見交換会

11/24 開催 第4回「ユネスコスクールの高校生とコロナ禍の学習について語ろう！」



2020年度よりユネスコスクール事務局はユネスコスクールオンライン意見交換会を1か月～2か月に1回のペースで実施することとなりました。今回は「ユネスコスクールの高校生とコロナ禍の学習について語ろう！」と題して、大人子どもの境目なしに活発な対話の場をもつことができました。ユネスコスクール加盟校から小中学生も参加してくれました。

### ■プログラム

開催日時:2020年11月24日(火) 16:00～17:00

時間	内容
16:00	<b>オープニング</b> 趣旨説明
16:05	<b>事例紹介</b> 名古屋国際中学校・高等学校 石川愛子 氏、伊藤衣音 氏、大島梨紗子 氏、鬼頭美優和 氏
16:20	<b>コメント</b> 静岡大学 教育学部 教授 田宮 縁 氏
16:25	<b>グループディスカッション</b> 事例紹介を聞き感じたこと、各校の取り組みをお互いに共有します。
16:45	<b>振り返り</b> グループ毎に、ディスカッションで話したことを発表します。(良かった点、学んだこと、今後活かしたいこと、改善点、メリット・デメリット等)
17:00	<b>クロージングと事務連絡</b>

### ■ コロナ禍でのわたしたち(高校生4名)の活動

名古屋国際中学校・高等学校の生徒さん4名より「灯し続ける Sustainable-こんな時だからこそ→どんなときも」をテーマに話題提供いただきました。以下、ご発表の概要です。

#### 1. 自分たちの「日常」が持続不可能になったとき

私たちの学校では、4月に学校が休校になった後、すぐにオンライン授業が始まりました。先生からの指示を待ち、次に何が起こるのかわからない状況の中で、私たちの気持ちを率直に表すとまさに

「？」という状況でした。そのような中、ACCUの方とZoom(オンライン上)でお話する機会をもつことができ、Zoomを活用していろいろと活動が展開できるかもしれない、その可能性について実感することができました。

## 2. どんな時も心を止めないために

その時、私たちが改めて自分たちに問い直したことは、「自分たちの活動は止まってしまったけれど、サステナブルとは一体何か？」ということでした。コロナ禍で「こんな時だからこそ」という言葉をよく耳にしますが、本来どんな時も学びを止めてはいけないというのがサステナブルの本質だと考えたので、私たちは「どんな時も心を止めない」ということ大切に活動を進めていくことにしました。私たちの活動には、次のような3つのポイントが挙げられます。1つ目は、私たちがつくってきたこれまでの「コネクション」を活かすということ、2つ目は実際につなげてわかった「オンライン」環境を活かすということ、最後の3つ目はこれまで実践を積んできたという「ポジティブさ」を活かすということです。これらの3つを整えることで「即実行」に移ることができたのだと思います。

## 3. 一歩ずつ前進！私たちの活動、そして気が付いたこと

私たちはまずコネクションを活かし、コロナ前に出会いSDGsでつながっていた北海道の高校生グループとオンラインで再会しました。オンラインの授業体制についてや、コロナ禍でどんな活動をしているかなどの共有をおこないました。そこから、私たちは「マナビ会議」というSDGsに取り組んでいる全国の高校生や大人たちを集めて「学び」について話すオンラインイベントを企画するに至りました。当日は一体感があがり充実した時間を過ごすことができました。次に、高校1年生では、ニューヨーク(アメリカ)、アリゾナ(アメリカ)、蘇州(中国)、ポローニャ(イタリア)とオンラインをつなぎ、コロナによってどのような影響があったか、また、その影響によってSDGsに対する考え方がどのように変わったか、そして今後どのような活動をおこなっていききたいかなどについて話す機会をもちました。イタリアでは、人々が外に出なくなったおかげで川がきれいになったことや、オンライン体制のない人たちにオンラインの仕組みを整えたなどの話を聞くことができ、環境や貧困への視点が広がりました。また、愛知県内の高校との交流もおこない、私たちの活動や、交流を通して知った海外の活動を共有し合いました。その中でアマビエの特徴のみ伝え、絵を描く交流活動や、加藤大地さんというカンボジアに居る方との交流会もおこないました。Zoomを通しての交流は初めてでしたが、これをきっかけに時差について考えてみたり、準備が大変でしたが、簡単につながることに気がついたり、いまの日本の現状だけでなく、世界の現状も知ることができたりして、その中で少しずつ輪を広げていく喜びに気が付くことができました。

他にも様々な活動をしました。その中で以前より企画していたもので、愛知県名古屋市のアンテナショップがないという課題意識から、立ち上げたサステナショップ\*という企画があります。市内の魅力的な企業を高校生目線で探し、認定、ショップに商品を出すというものです。味噌煮込みうどんや印刷、こんにやくなどをウェブ上のショップに出すことが決まりました。オンライン上で、企業の人たちと「どうしたら名古屋のよいところをアピールすることができるのか」話し合い、綿密な打ち合わせを重ねた上での実施でした。

---

\* <https://sustaina-shop.jimdosite.com/>

学校でおこなっていたオンライン国際理解研修についても紹介します。カンボジアのとある湖畔におけるまちづくりを調査し、実際に自分たちができることを探すというものです。この研修のコンセプトはちょっと地球を救う活動であるということです。たとえオンラインだとしても、現地のあたたかさや、リアルなものを見て感じる事ができ、むしろオンライン上だからこそ見える景色があるということを知ることができました。

私たちはこれらの活動の中で、誰もがコロナ禍0歳だということを知ることができました。そしてその気持ちをもとに、ベースが0の状態でも積極的に活動を進めることの重要性に気が付くことができました。その積極さは、コロナ前からサステナブルな心を持っていたからなのではないかと思います。一度、休校になってしまった時、私たちの学びもストップしかけましたが、心の奥のサステナブルな気持ちを思い出すことができたからこそ、活動を前に進めていくことができたのだと思います。

## ■ 子どもと一緒に考える持続可能性

話題提供を受け、静岡大学 田宮縁教授にコメントをいただきました。

- ・ 心の中のサステナブルな気持ちが、活発な活動の根源にあるということを知った。サステナブルな心を持つ人たちってどんな人だろう？と問い、どんな時でも心(学び)を止めないということに気が付けたのも、コロナ禍だったからなのではないか。心を止めない情熱な人たちののだと感じた。
- ・ 実践を紹介してもらった中で、様々な苦労も垣間見えた。例えば、海外との交流では、時差など、障壁を乗り越えた様子も見ることができた。他国の環境や貧困の課題について一緒に考える中で一体感を持てたというところにも感動した。本来、初めて会った人たちとディスカッションするというのは難しい。みなさんの発表を聞いて、それを払しょくするための仕掛けが自然に用意してあるということに気が付いた。一体感をもつ仕掛けをつくるのは、若者の得意分野なのではないか。私たちはそこからいろいろと学ぶことができるのではないかと感じた。
- ・ コロナ禍でのオンラインの活動の様々なよさ、メリットを知ることができた。きつともっとお話しがないような成果もあったのだと思う。その一方で、オンラインだからこそ、デメリットも同時に学びたいと思った。ここはやっぱりオフラインがよい！というところも出していくと、大人も高校生から学ぶことが多くなると思う。
- ・ どちらにしても、若者だけでなく、どのようにサステナブルな状態を広げていくのか？という問いをみんなと一緒に考えていきたい。

## ■ 模索しながら、できることから！

話題提供と田宮教授からのコメントを受け、参加者同士の対話の場が持たれました。以下、話し合われた主な内容です。

- 楽しみながら継続した活動を展開させていくことが重要だと感じた。
- 高校生の取り組みを小学生も一緒に学ぶことができてよかった。
- 他の学校の取り組みを知らなかったなので、知ることができてよかった。

- 伝統的な活動でも工夫をすれば継続していくことができることを知った。
- お話を聞いていた中学生からはアマビエをきっかけにした交流活動の方法や、サステナショップの詳しいことについて質問があった。
- また、学びを止めないための維持の仕方として、できることをやってみるという姿勢が重要であることに改めて気が付くことができた。
- 高校生の話の中で「ポジティブさ」というお話があったが、コロナ禍で社会が混沌とする中で「未来に希望は持っているか」について高校生に質問をした。そうすると、不自由な中でも何ができるか追及していくことで、自然にできることが見えてくると話していた。とても重要な視点だと感じた。自分自身も、これからポジティブさを大切にサステナブルな考え方をこれからも追及していきたい。



〔意見交換終了後の集合写真〕

※次回は 2020 年 12 月 22 日(火)16:00～17:00 に「ポストコロナ禍における探究学習」をテーマに対話の場をもちます。お申込み方法などの詳細は、後日 [ユネスコスクール公式ウェブサイト](#)内「イベントのお知らせ」「みんなの掲示板」、[ユネスコスクール公式 Facebook](#) にも掲載しますので、お見逃しなく！